# くまもと市ＰＴＡ会報

題字　大西 一史 市長

熊本市PTA協議会
会　　長　松島雄一郎
編集責任者　田中　哲郎
〒861-8074 熊本市北区清水本町16-10
熊本市健康センター清水分室新館 2F
TEL(288)3750　FAX(288)3754
http://kumamotocity-pta.net
info@kumamotocity-pta.net
印刷：㈱キャップ TEL(362)3333

## 創立70周年記念
## 熊本市ＰＴＡ協議会　研究大会

令和元年11月23日(土)　熊本市民会館シアーズホーム夢ホール

熊本市ＰＴＡ協議会は創立70周年を迎え、今年の研究大会はその節目の記念大会となりました。

開会行事では、熊本市教育長　遠藤洋路様をはじめ歴代会長や関係諸団体から多数のご臨席を賜る中に、松島雄一郎市Ｐ会長から、市Ｐの礎を築いてこられた諸先輩方や関係各位への感謝と、更なる発展へと引き継いでいく力強い決意の言葉が述べられました。

また、ご来賓を代表してお二人からご祝辞をいただきました。遠藤教育長様からは市Ｐのこれまでの取り組みへの感謝、魅力的な学校づくりに向け、引き続きＰＴＡの皆様方へ理解と協力をお願いしたいとのお話、続いて、第13代会長　吉村圭四郎様からは、発足当時の経緯からこれまでＰＴＡが果たしてきた活動内容や功績を紹介していただきました。

熊本地震後に改修された大ホールに800人を超える参会者を得て、70年の歩みを改めて感じる記念大会がスタートしました。

### ◆70周年記念講演
### 『笑顔がいちばん ～ビミョーなお年頃は ○○をつかめ！』
タレント　長船 なお美 氏

令和元年11月23日（土）熊本市民会館シアーズホーム夢ホールにて、タレントの長船なおみさんを講師にお迎えして講演が開催されました。

冒頭に長船さん自身もお子さんが小学校の頃にＰＴＡ役員をされていたというお話があり、勝手に親近感がわきとても明るく笑顔でお話しになる長船さんの話に聞き入りました。

いろんなお話がある中で、私が一番なるほどと思ったお話は、「子どもは耳で起こすのではなく温もりで起こしてあげる」という言葉でした。これは、どういうことかというと、目覚ましや名前を呼んで起こすのではなく、背中をさすりながら手のぬくもりで起こしてあげるということでした。

これを聞いた時に改めて、子どもとのスキンシップの大切さを感じました。朝の忙しい時間でもあり、大きな声で叫ぶように子どもを起こしていた自分を反省してそこ何分かのことで子どもに温もりを与えてスキンシップを図り親子の関係を良好にしていく一つの手段であるということ教えていた講演でした。

（西原中学校 副会長　田中 信代）

### ◆ＰＴＡ活動報告
### 『託麻北校区　地域のチカラ』
託麻北小学校ＰＴＡ会長　河端　昇 氏

託麻北校区は、熊本市東区の最北部に位置し北側を流れる白川沿いには農地が広がる地域で歴史的遺産が多く残されており、特に乙姫神社の呼び名で親しまれている「奈我神社乙姫宮」で毎年10月25日に奉納される「肥後神楽（上南部）」は市指定無形民俗文化財に指定され、地元の小学生・中学生が毎年練習をして当日に一日かけて色々な神楽を舞うなど歴史文化の継承に積極的な土地柄です。

託麻北小ＰＴＡでは、そういった地域の特色を生かして、地元組織と連携したイベント、「歴史探訪託麻北八十八ヶ所巡り」や新しい取り組みとして、地元の竹を活用した「竹あかりクリスマス会」を昨年から行っています。

子どもを守る取り組みとしてパトロールランニング（パトラン）や託麻ちょこっとパトロールを今年から実施しています。子どもに地域を知ってもらう取り組みとしてジュニアボランティア事業を通して世代間交流を図ったり、農業体験事業を実施し学年ごとにサツマイモ・ジャガイモ・大豆・もち米を植え付けから収穫までを子どもたちが体験するという取り組みを行っています。

このような取り組みの紹介があったのですが、地域の特色を生かした活動を子どもやＰＴＡ、地域の方々がすごく楽しそうに、協力して実施しているのがとても魅力的に感じました。

また発表の中、「竹あかりクリスマス会」でゴスペルを披露したゴスペルユニット「Kuma_oto（くまおと）」の方々による歌の披露がありゴスペルらしい曲から誰でも知っている曲で会場全体が盛り上がり、実際のイベントの雰囲気を味わうことができ、ぜひ参加してみたいと思いました。

（健軍東小学校 副会長　神園 弘幸）

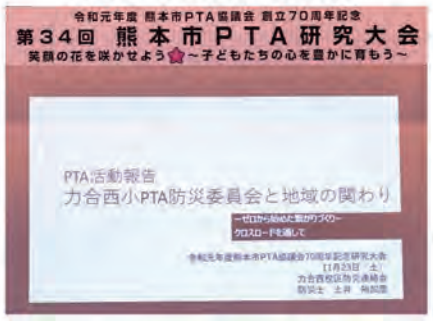
### ◆ＰＴＡ活動報告
### 『力合西小学校 ＰＴＡ防災委員会と 校区防災連絡会との関わり』
力合西校区防災連絡会 防災士
土井裕加里 氏
藤森　幸治 氏
北岡　忠勇 氏

11月23日（土）熊本市民会館シアーズホーム夢ホールにて熊本市ＰＴＡ協議会創立70周年記念研究大会が開催されました。

力合西小学校ＰＴＡでは、熊本地震をきっかけに平成29年度にＰＴＡ防災委員会を設置しているとのこと。

皆様方もあの地震の時のことを考えると「今だからこそああしておけば、こういうことを対策していれば」と思い浮かぶこともたくさんあったかと思います。

こちらの学校はその考えをいち早く、実践的かつ的確に対応し周囲に広めるために「防災クッキング」「まち歩き」「クロスロード体験会」等の様々な防災活動を行い、またＰＴＡだけではなく地域住民にも参加を促し、「防災に関わることは難しくないんだ」と感じてもらえるように発信をしてこられました。



前述のクロスロードでは、参加者のスマートフォンと連動させ会場の全員の意見を集約し、実際に悩むであろう問題を問いかけ、ＹＥＳかＮＯで答えました。

ＹＥＳにもＮＯにも意見があり、深く強い思いがあることを改めて感じさせられました。一人一人置かれた場所や、環境など色々なパターンや気持ちがあるということ。地震の被害も記憶も少しずつ風化され、記憶も薄れていく今だからこそ、再度思い出し記録し、またみんなに伝え共有することで災害と向かい合い、「個人や組織でできることを考えるんだ」というきっかけを作っていただきました。

準備や用意、心構えなど知識を増やすことで、防災で大切な一人一人が自ら取り込む「自助」と、身近にいる人同士が助け合う「共助」を学ぶことができました。

これらを自分自身の校区に持ち帰り、活用できればよいと感じました。

発表者の皆様、本当にありがとうございました。

（下益城城南中学校 副会長　岩﨑 宏則）

# 各区ＰＴＡ連絡会研修会開かれる

## 北区

令和2年1月26日(日)

『親子コミュニケーション　自分の気持ちを相手に伝える方法』

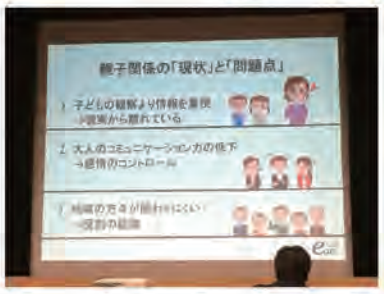
ＮＰＯ法人さくらの会理事長　矢野　美枝氏

令和元年度北区ＰＴＡ連絡会研修会が1月26日（日）、熊本市民会館大会議室で開催されました。演題は「親子コミュニケーション　自分の気持ちを相手に伝える方法」です。講師はＮＰＯ法人さくらの会理事長でいらっしゃる矢野美枝さんです。

日常生活や社会生活の中で欠かせない人とのコミュニケーションにおいて、何が大事なのか、本質的なテーマを分かり易く解説いただき、ご自身の育児や仕事を通じた実例を交えてアドバイスを頂きました。伝える側の準備、伝わる側への配慮、お互いが共感できる工夫など、多くの気付きやメソッドを伝授いただいたので、早速取り込みたいと思う内容でした。「Mentimeter」という投票結果をリアルタイムに確認できるアプリを活用して、二つの質問に対しての様々な意見をスクリーンに映し矢野さんに個別具体的な回答を頂く企画もあり、こちらは多様な意見が挙がり、同意できる意見やなるほどと考えさせる意見など様々で、非常に興味深かったです。

講演を聞いて、コミュニケーションの大切さや難しさを改めて認識し、日々のより良い人間関係を築いていけるよう気持ちを新たにしました。参加してよかったと思います。

（龍田西小学校 副会長　杉山　瞬）




## 南区

令和2年1月19日(日)

「スマホの向こう側」～子どものインターネット事情と大人の関わり方～

熊本市教育委員会　田中 慎一朗氏

例年より暖かい冬の休日、南区の天明ホールにて南区の家庭教育研修講演会が開催されました。オープニングアトラクションで富合中学校・吹奏楽部による4曲の演奏が行われ、和やかな雰囲気で始まりました。

講師は、今や全国区となった子どもたちのインターネット事情に精通している田中慎一朗先生。私は田中先生の講演を拝聴するのは、昨年、当校でお願いした際に続き2回目ですが、その内容が時間の経過とともに少しずつ更新されていることに、感動を覚えました。

テーマは「ネット事情」という、私たち親世代が子どもたちの時代には存在していなかったツールを通じての話ですが、田中先生に現実（リアル）の世界での親の子どもに対する関わり方次第で、子どもたちのネットに対する依存度も変わってくる、ということを教えていただきました。正確には「私たちの何気ない日常の会話など分かり易い状況を用いて気づかせていただいた」というのが正しいかも知れません。

ネットという、24時間、外の世界とつながるツールを子どもたちが持つようになった現代も、やはり保護者が子どもたちにとっての一番の拠り所であり防波堤である、という自覚を持たせていただいた貴重な講演会でした。

（隈庄小学校 副会長　小田原　章）

## 中央区

令和2年1月26日(日)

『ネットモラルキャラバン隊』

熊本市教育委員会　田中 慎一朗氏
兵庫県立大学 准教授　竹内 和雄氏

令和元年度の中央区の研修会は、文部科学省委託事業である「ネットモラルキャラバン隊」への参加という形で開催されました。会場はまだ真新しい熊本城シビックホールです。会場のドアを開けるところからテンションが上がります。中央区からの参加者は約150名。多くの会員がネットモラルに関心を持っていることがわかります。

プログラムは、まず文科省のネットを巡る問題への取り組みの報告と、警察庁からのネット犯罪に関する現状の説明から始まりました。男女問わず裸の写真を悪用される事件が増加中という報告が印象に残りました。誰でも巻き込まれ得る犯罪に、背筋が寒くなりました。

続いて授業参観と銘打ったワークショップでは、熊本の中高生が登壇し、講師の田中慎一朗先生のナビゲートのもと、会場の参加者と配られたタブレットや各自のスマホを使用して意見交換をしました。さすがＩＣＴ教育で先端を行く熊本市、面白い試みです。

現代の子を持つ親なら一度は「スマホ買って」とねだられ、そして購入に悩んだことがある方が大多数でしょう。このワークショップでは、子どもなら誰もが欲しがるスマホに対する中高生のリアルな声が聞けて、大変興味深かったです。若年齢のスマホ使用に否定派の私でしたが、おかげで信念がぐらつきました。今後も家庭内で、スマホ使用に関して意見を交わす重要性を強く感じました。

「スマホはナイフと同じ。使わなくては生きてはいけないが、使い方を教えることなく渡してはいけない」という言葉を肝に命じて、今後も広がり続けるネット時代を生きていきたいと思います。

（城東小学校 副会長　堀田 誠代）

## 西区

令和2年2月1日(土)

「完璧な親なんていない」～私はこうしてきた～

野田 亜紅氏

西区ＰＴＡ連絡会では令和2年2月1日（土）に西区公民館にて研修会を実施しました。今回はフリーアナウンサーの野田 亜紅さんを講師に迎え「完璧な親なんていない～私はこうしてきた～」をテーマに、子育てや子と親の関わり方を分かりやすく講義していただきました。

野田さんの育児方針は「自分の気持ちを表現できる子に育てる」「子どもを人として尊重する」「自分の価値観を押し付けない」であり、子育てにおいて貴重なアドバイスをいただきました。

野田さんにはお嬢さんが一人いらっしゃるのですが、野田さんがアナウンサーという特殊な職業のため、小学校では好奇の目にさらされ、アナウンサーの子というプレッシャーがあったそうです。そして反抗期や高校受験などで子どもが悩んでいた時は、ご主人の協力もあり乗り越えることができたと話されていました。

また、野田さんは社会人になってから福岡の学校で心理学を学び直され、そこで学んだコミュニケーションのお話もありました。コミュニケーションを取る上で三つのストロークが重要で、このストロークとは心理学でいうコミュニケーションという意味だそうですが、その一つ目は「褒める」「一緒に喜ぶ」など、お互いに快いプラスのストロークと、二つ目は「見下す」「けなす」などお互いに不快なマイナスのストローク、さらに三つ目は「無視」や「無関心」であるノンストロークがあることを説明され、子どもに対するノンストロークこそが虐待につながるとありました。

最後に、子育ては人生の一部であり、「よい人生を歩んでいればすでに良い母親」と話され、良い人生を歩むための方法を岸見一郎氏の「哲学人生問答」の引用から、1 人からどう思われるかを気にしない、2 自分の人生を生きる、3 ありのままの自分を受け入れる、と紹介がありました。

今回の講演では子育てによる家族のサポートや適切な子どもたちとのコミュニケーションの大切さを学びました。親としてはこれらのことを実践していくことが重要であると感じた講演でした。

（春日小学校 会長　緒方　茂）

## 東区

令和2年2月1日(土)

第1部　サイエンスショー　九州サイエンス・ラボ

第2部「過去・現在・未来～フィルムに描く私の夢～」　行定　勲氏

令和2年2月1日、長嶺小学校体育館で東区研修会が行われました。今年は熊本地震の際に全国から寄せられた義援金を使い、ＰＴＡ会員の皆さんに還元しようと考え2部構成にし、1部を九州サイエンスラボさんの「サイエンスショー・実験教室」、2部を郷土出身かつ映像分野でご活躍中の映画監督の行定勲さんにお願いして開催されました。

第1部のサイエンスショーでは、石橋かずき先生、通称「かず先生」が、空気を使ったショー「これが空気のパワー de ショー」と題し、身近にある物を使っての実験でした。「科学とは身近にある物。そこにあること自体が科学！色々な事に興味を持って楽しい所を見つけて欲しい」と言われ、最後には科学の実験ではお馴染みの「巨大空気砲」を使った実験に集まった子どもたちは大喜びで終わりました。

第2部では映画監督、行定勲さんに、「過去・現在・未来　～フィルムに描く私の夢～」と題し、幼少期から高校時代まで熊本で過ごしたエピソードや、上京して映像の世界に入ってからの話を笑いを混ぜながら話をしていただきました。その中で「夢を持つことは素晴らしいが、夢を叶えたからといって必ずしも幸せになるとは限らない。夢は自分の真実の感情。根っこにある物がしっかりしていれば持っていた方がよい」や、ＡＤ時代、仕事に行き詰まり思い悩み〝鬼の助監督〟といわれていた方に相談した時、言われたことを自身の『一生の言葉』と称して、「評価は他人、周りがすること。自己評価で動くな。やりきることが大切」と語られました。最後は参加者の質問にも答えていただき、大変有意義な時間を過ごせました。

今年は2つの研修会を行い、子どもたち・保護者の皆さんには色々な事に興味を持ち行動をすることの大事さを伝えられたと思います。これからも興味を持っていただけるような研修会を行っていきたいと思います。

（東町小学校 副会長　緒方 新諸）

# 第12回くまもと教育・文化フォーラム

令和元年11月10日（日）　くまもと県民交流館パレアホール

～テーマ～
『生きがいを感じるとき、そして喜びを感じるとき』

令和元年11月10日（日）くまもと県民交流館パレアホールにて、熊本市退職校長会主催、熊本市教委、ＰＴＡ協議会、小中校長会共催で「第12回くまもと教育・文化フォーラム」が開催されました。

まずオープニングとして井芹中学校合唱部の歌が披露され、会場の皆さんも美しい歌声に聴き入っておられました。銭塘小学校の取り組みでは、「４つの心の妖精」に自ら気づき、子どもたち一人ひとりの心の成長を感じることができる発表でした。白坪小学校ＰＴＡ活動では、地域と共に作るバザーを紹介され、役員の方の「手品」も披露され大盛り上がりでした。帯山中学校の教育実践発表では、今年度導入されたＩＣＴ機器活用の効果的な学びについて、授業の場面を交え、成果や今後の可能性について理解が深まりました。

講演会は、フリーアナウンサー野田亜紅さんによる「生きる」という演題でお話しいただきました。自身の生い立ちを紹介されながら、コミュニケーションの大切さ、物事をプラスに置き換える生き方について話されました。

多岐にわたるプログラムに、会場の皆さんにとって学びを深める素晴らしい機会となりました。

（山本小学校 副会長　齋藤 猛人）

## 美術展

「第12回くまもと教育・文化フォーラム」美術展が、令和元年11月6～12日に鶴屋東館8階ふれあいギャラリーにおいて熊本市退職校長会の主催・市Ｐ等共催で開催されました。

各校区ＰＴＡからも多くの出展があり、絵画14点、書道15点、写真17点、彫刻1点、工芸・手芸10点の計57点の作品が芸術の秋を彩りました。

なかでも異彩を放っていたのが、帯山中学校ＰＴＡの野口よち子さん作の絵画「あぁあかいさらふぁ」と「んぬぅてみてもぉ」の連作。パステルカラーの木枠の中に2～3枚の細長いキャンパスを配し、赤・青・黄の深みのある色彩が散りばめられ、その上に太古の世界を思わせる魚たちを線描で生き生きと描かれています。

不思議なタイトルの由来は、野口さんが参加している、34年前の出水小学校ＰＴＡのお母さん方が結成したコーラスグループ「コールいずみ」で歌っている歌のイメージからだそう。制作期間は、少しずつ制作して2～3か月。

野口さんは熊本市内の額縁と画材の専門店にお勤めで、絵画グループにも所属しており、今年9月にはニューヨークでグループ展も行うとのこと。流石の作品ですね！

（託麻原小学校 副会長　藤川 孝作）

## ふんわり

### ＰＴＡとの出会い

私が城山小学校のＰＴＡ執行部に入ったのは子どもが小学校3年生の時でした。選考委員の方から連絡があり「ぜひ執行部に入ってください」と言われましたが、「会社勤めで昼間は時間が作れないので難しいです」と最初はお断りしました。

しかし、それでもお願いしますと言われて、私でも子どもたちのために何かできることがあるのではないかと思い引き受けました。それからは執行部1年目から市Ｐ担当副会長、2年目からはＰＴＡ会長さらに市Ｐ理事も受けまして、今年度は市Ｐ副会長をさせていただきまして怒濤の3年間が過ぎようとしています。日々子どもたちのために私なりに頑張らせていただいております。

ＰＴＡ活動を通して様々な経験をさせていただいておりますが、その中でも普段では交流のできない人たちとの出会いがＰＴＡに入ってよかったことと思っています。今後も新たな出会いを通して成長していければと思っています。

今年私の子どもも6年生となりますので、小学校最後の1年間子どもと一緒に精一杯楽しみたいです。また、今年は日本ＰＴＡ九州ブロック研究大会が熊本で開催されますので、そこで皆さんと出会えるのを楽しみにしています。

（城山小学校 会長　林田 将希）

## 熊本県PTA共済からのお知らせ

（熊本県PTA教育振興財団）

### PTA共済ご加入の注意:

**P災コースに加入できるのは、児童生徒と学校管理下の部活動・PTAのプール開放時の指導者のみになります。**教職員PTA会員であり、かつ学校に管理下の部活動がありその指導をなさる可能性のある場合は、教職員の方々もP災コースにご加入いただけますが、そうでない場合は安互コースへのご加入になります。

### 活動中の急性の疾病とは･･･:

本共済は活動中や活動参加のための往復中に発生した事故や急性の疾病について、共済金の給付をしています。急性の疾病とは、もともとの持病や、治療中（自己判断による治療中断を含む）の病気やケガ、活動に参加する前から症状のある（体調不良など）場合は対象となりません。明らかに活動中に初めて症状が出たもので、翌日までに医療機関を受診し診断されることが必要です。体調が良くない場合に、無理に参加することは避けましょう。

### 共済期間は･･･:

学校などの年度に対応する1年間（4月1日から翌年3月31日まで）になります。翌日から年度末までとなり、この期間中に発生した事故が共済の対象となります。特に卒業を迎える学年では、卒業式後であっても3月31日までは、PTA活動やPTA会長承認行事への参加中の事故は共済の適用を受けることが出来ますが、4月に入ると本年度の共済は適用されません。

### 特別団体制度は廃止されました:

小学校の部活動の社会体育への移行に伴い、小学生で本共済が適用されるのは、学校管理下の死亡・障害・交通事故・突然死・歯科保険外治療とPTA活動、PTA会長承認行事への参加時の死亡・障害・負傷・交通事故・突然死・歯科保険外治療となります。学童保育参加中や子ども会の活動は対象外となります。

問い合わせ先：熊本県PTA教育振興財団 事務局 TEL: 096-278-8811


熊本市ＰＴＡ協議会　小・中学生総合保障制度のお知らせ

安心してお子様をご養育いただくために

**「小・中学生総合保障制度（こども総合保険）」**

お子様の「ケガ」「育英費用」やご家族の「個人賠償責任」などを補償します。

（学校内のケガの場合、「独立行政法人　日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度」の給付とは関係なく補償されます。）

※保障制度の詳細につきましては、取扱代理店にお問い合わせください。

●制度に関するお問合せ先：取扱代理店　株式会社コーリン（熊本市PTA協議会保障制度事務局）
ＴＥＬ：０１２０－２２８－５５３（通話料無料）
（受付時間：平日午前９時～午後５時　土・日・祝日、年末年始を除く）

●制度引受保険会社：ＡＩＧ損害保険株式会社　東京海上日動火災保険株式会社
損害保険ジャパン日本興亜株式会社　三井住友海上火災保険株式会社

2019年3月現在の内容です。

# うちの学校のこんなトコ 単P紹介 紹介します！

## 子どもたちの安心・安全を目指す、春日小学校【春日小学校】 西区

春日小学校は4年後に150周年の大きな節目を迎える歴史ある小学校で、小学校の立地における一番の特色は熊本の玄関である熊本駅から最も近い小学校であることです。熊本駅周辺は九州新幹線の開通や熊本駅再開発周辺整備事業によりこの数年間で大きく変わりました。新任の先生の中には「小学校の窓からミッキーマウスの新幹線が見える」と感動される方もいらっしゃいます。

また春日小学校のもう一つの大きな特色は小学校・地域・ＰＴＡが三位一体となり安心・安全な地域づくりに取り組んでいることです。昨年度はモデル事業の一環として防犯カメラが小学校に設置され、また今年度は地域有志の皆様の協力による「動く110番の家」で登下校の児童の安全を見守っていただいています。

さらに昨年の10月29日には春日校区防犯協会とＰＴＡ共催で、多数のメディアでも取り上げられている、うさぎママのパトロール教室主宰の武田信彦先生を講師としてお招きし親子防犯セミナーも実施しました。先生からは小学校と地域それにＰＴＡの結びつきが強いほど防犯力があり、春日校区はそれを実践していると言っていただきました。この時は多くの地域の方々と保護者の方々に来ていただき、改めて防犯の重要性を認識しました。

これからも小学校・地域・ＰＴＡが一つとなり、子どもたちが安心して暮らせる地域を目指して活動を行っていきたいと思います。

（春日小学校 会長　緒方 茂）

## 新旧が織りなすコントラスト【隈庄小学校】 南区

隈庄小学校は、今年度で146年目を迎えた歴史ある小学校です。以前は下益城郡城南町の中心にある小学校でしたが、平成22年3月に熊本市と合併をし、熊本市の一員となりました。現在の生徒数は737名と、熊本市内でも有数の大規模校です。その理由は「城南のビバリーヒルズ」と呼ばれる新興住宅地の“さんさん地区”が開発され、多くの新しい住民が増えたことにあります。

隈庄小学校は学習田を保有し、5年生が食育の一環として田植え、稲刈り、給食での全校生徒の食事、そして集団宿泊での料理＆食事と一連の流れを体験学習します。

そして、ＰＴＡ行事として収穫祭（餅つき）を体験します。今年度は授業参観が行われた12月7日（土）に行われました。学級委員が1か月以上前から準備を重ね、当日は参加した親子が、蒸し係・餅つき係・丸め係・配膳係に分かれます。手作業でついたお餅の味は格別！昔から地区で育った方たちも、新しく隈庄校区の住民になった方たちも一体となり、美味しさの周りには笑顔が溢れていました。

この新旧の住民たちの交流、「人数は多いけど田舎」が隈庄小学校の最大の魅力です！

（隈庄小学校 副会長　小田原 章）

## 城東っ子、お城と一緒に育ってます！【城東小学校】 中央区

城東小学校は、県内で最も賑やかな場所に位置する、上通・下通を校区の中心としています。今年度で創立141周年の歴史ある学校です。

市街地にありながら、熊本城がどの教室からも見えるキャッスルビューな環境が自慢です。城東の子どもたちは、現在、修復真っ最中の熊本城を毎日見守っています。復活に向けて少しずつ変化するその姿は、何も語らずとも雄弁に何かを教えてくれています。

商業施設が多くある校区のため、本校の児童数は200人余りと多くはありません。しかし、ＰＴＡ会員や地域の方々のご協力により、夏祭り、どんどやを核とした様々なＰＴＡ活動を展開、親と子そして地域が一体となった盛大なイベントを毎回創り上げています。今年のどんどやも、竹の切り出しから組み立てまで総力を結集して行い、当日は18メートルの巨大な櫓になりました。

また、来年度から敷地内に熊本市立あおば支援学校が開校します。本校や隣接する藤園中学校と連絡通路で繋がり、三校で施設を共有します。同敷地内に小・中・支援学校があるのは、全国初の試みとのこと。たくさんの子どもたちが集う学校生活がどうなっていくのか楽しみです。

本校は歴史と伝統に支えられながらも、本年度はICT活用研究モデル校として授業公開を行うなど、新しいことにも挑戦し続ける素晴らしい学校です。令和の新時代にも、城東っ子は新たな歴史を築いてくれるでしょう。

（城東小学校 副会長　堀田誠代）

## 龍西っ子、躍動！【龍田西小学校】 北区

龍田西小学校は平成28年4月に開校した小学校です。当時非常に児童数の多かった龍田小学校の分離新設校として、熊本市内で95番目にできた若い小学校になります。

北バイパスを挟み、二之宮神社や代継宮辺りと豊肥線から白川沿いの一帯が校区となります。阿蘇を一望できる素晴らしい眺望は龍西っ子の自慢の一つです。

開校直後に熊本地震の被害を受けましたが、開校後4年が経ち、子どもたち、先生方、地域住民にもやっと落ち着きが戻って来たように感じています。そのためか、年々小学校の活動、取組みなどの幅が広がり、盛り上がりが感じられます。振り返ると、秋に開催したバザーには300人以上の参加があり大盛況となりました。また、森の音楽会ではブラスバンド部が出場し、素敵な音色を奏でてくれました。今年度は児童見守り安心システム「ツイタもん」を導入し、子どもたちの安全配慮への取組みもトピックスに挙げられます。

変化は成長したり、新しい発見、気付きなどをもたらすポジティブなものだと私たちは捉えています。龍田西小学校は年々他校の取組みにインスパイアされ、色々な変化にチャレンジしています。子どもたちにとっては来年度から部活動が地域型クラブ化することも一つの変化ですし、ＰＴＡではおやじの会設立に向けて協議中です。

阿蘇の雄大な景色に目を向け、広い視野を持てるよう、龍田西小学校は2020年度も新しいことへチャレンジし、より良い小学校と地域、ＰＴＡの連携に向けて精力的に取り組んでいきたいと思います。

（龍田西小学校 副会長　杉山 瞬）

## 熊本地震を忘れず地域との連携、防災意識を高く持って【東町中学校】 東区

本校は、昭和57年に錦ヶ丘中学校から分離して創立され、今年で38周年を迎える学校です。

健軍東小、山ノ内小、東町小から生徒が集まります。また、健軍東小とはグラウンドを共有していることもあり、小・中学校の連携が図れる環境にあるので、協力して子どもたちを育んでいます。

本校区内には東警察署、東消防署、陸上自衛隊健軍駐屯地、令和元年10月には市民病院が移設され、近くには東区役所もあり、環境にも恵まれています。

その立地の良さを活かし、令和元年10月19日に、健軍東小学校自治協議会の呼びかけで警察、消防、自衛隊、東区役所が参加し、健軍東小学校、東町中学校合同で避難訓練を行いました。熊本地震発生時には健軍東小学校の体育館を避難所として使用し、共有している運動場にも多くの方が避難されました。その時の教訓を活かし、またいつ起こるかわからない災害に備えるのを目的とした避難訓練でした。当日は、小学校・中学校共に土曜授業で、その時間を利用し、地震が発生したと想定。両校の生徒・児童・保護者、地域住民の方々など、千名近い方々が本校運動場に避難されて来ました。訓練は無事成功し、迅速且つ適切な避難ができていたと思います。

訓練終了後は自衛隊・警察・消防の車両展示を見たり、地震体験車やVRを使った消火訓練、簡易担架等の体験を行いました。これから一層の防災意識向上に努め、熊本地震を忘れず教訓を伝えていければと思います。

（東町中学校 副会長 緒方 新諸）

## 編集後記

132号の発刊にあたり、まずは今号に携わっていただいた皆さんに感謝申し上げます。

この1年間、熊本市Ｐの広報委員長として市Ｐ会報の編集に携わる中で、多くの方々に助けられました。私は単Ｐでも広報委員の経験が無く、全くの素人で行き届かない部分もあったと思います。

そんな私に、印刷会社の担当者さん、前年の広報委員長さんからのあたたかい助言は大いに参考になりました。私もこの経験を次年度の広報委員長さんに繋いでいきたいと思います。

1年間ありがとうございました。

（錦ヶ丘中学校 会長　田中哲郎）

132号編集委員(順不同／敬称略)

岩﨑 宏則（下益城城南中）　白尾健太郎（向山小）
緒方 茂（春日小）　杉山 瞬（龍田西小）
緒方 新諸（東町中）　田中 哲郎（錦ヶ丘中）
小田原 章（隈庄小）　田中 信代（西原中）
嘉悦奈津子（東部中）　藤川 孝作（託麻原小）
蒲池 一成（春日小）　福島 隆弘（西原小）
神薗 弘幸（健軍東小）　堀田 誠代（城東小）
齋藤 猛人（山本小）　松本 知樹（東野中）